

つくろう会通信

第3号

2001.9

8月定例会報告（2001.8.10）

今回は夏休みとあって参加者が少なかった。
子ども達（兄弟もみんな）も一緒に連れてきておしゃべり会にしましょう。
と呼びかけたのだけれど、みんな忙しかったのかな！？
参加は5家族、子供たちを入れて、15人でした。

7/9教育委員会の方と「プレ就学相談」を行いました、そのときの様子を少しお話し、あとは座談大会となりました。（笑）
子ども達の通う幼稚園のI先生が来て下さり、「感覚統合」のお話をしてくださいました。
I先生は子ども達の療育担当（？）です。
去年に引き続き今年も、北海道まで感覚統合の勉強に行かれました。
（なんと10日間も！！）

「感覚統合」の最終的な目標は、「入ってきた情報を統合する力を育て、環境への適応を図る」ことだそうです。
「このことができる様にこういう訓練をする。」というのではなく、子どもの動きの根底にある部分のどこが弱いのか。それを見出し、遊びの中でその部分を鍛えていく。改善していく。そして、その弱かった部分がスムーズに機能するようになって初めて、それまでできなかった事ができるようになる。。。と、親にはちょっと耳の痛い話。親はどうしても目先のことで、「これが出来るようになるにはどうしたらいいの？」なんて言いがちですものね。
いちばん大切なことは、「子どもが楽しんで自分から物や人に関わっていく。」ということ。

I先生のお話も聞けたし、他にもいろいろおしゃべりできて、楽しい定例会ができました。

お知らせ

9/2（日）シビックセンターで健康増進大会が開かれました。テレビでおなじみの東海林のり子さんの講演の他、体力測定、献血などが行われ、また、いろいろな団体の掲示物や健康飲料の即売会もありました。
そして、保健センターのご好意で、つくろう会の会報、会員募集のチラシを掲示していただきました。
どうもありがとうございました。
今月いっぱい掲示してあるそうですので近くに行かれたらのぞいてみてください。



自閉症児の在宅ケア支援

自閉症などの発達障害がある子どもの在宅ケアを支援するため、厚生労働省は23日、全国に複数の「自閉症・発達障害支援センター（仮称）」を整備する方針を固めた。来年度予算の概算要求に整備費や運営費を盛り込む。センターは発達障害のある子どもの入所施設内や隣接地などに設置し、心理療法士らを配置。施設側のノウハウも活用しながら、在宅の療育計画をつくり、家庭とセンターが一体となってケアを進める。精神科の専門病院とも連携し、児童精神科医にもセンターに定期的に来所してもらう構想だ。電話相談も受け付け、在宅での療育、相談事業の地域拠点としての機能を担う。同省によると、支援センター整備の候補となるのは、北海道や三重県、大阪府などに7カ所ある自閉症専門の入所施設と、自閉症者を主に受け入れている25道府県、36カ所の知的障害者の入所施設。（共同通信：インターネット）

この支援センターの候補地に鹿児島県も入っています。
いったいどこに出来るのか、今から興味津々ですが、どこに出来ても、みんなが平等に支援を受けられるようにして欲しいですね。



もっと知ってください。
スペシャルニードの
子どもたちのことを...



このコーナーは私たちの子どもの紹介コーナーです。

ぼくは、ドラえもん和チョコが大好きな年長さん。
同じことをしゃべり続ける技あり！！
軽く聞き流そうものなら顔ごとギュー。 ”見て聞いて” ほしいらしい。
どんな不機嫌な朝でも魔法のホットミルクを飲むと「先生が待っ
てる」と登園します。
最近自転車が大のお気に入り。補助輪が取れるのも近いはず！？
雨が降ると涙が出てしまう。明日天気にな～れ！！

ぼくも ”魔法のホットミルク”
飲みたいなあ・・・

編集後記

2学期が始まり、世のお母さん方はホッとしておられることでしょう。
秋は運動会、遠足、学習発表会など大きな行事が目白押しですが、つくろう会にとっても大きなイベント(?) ”就学相談” がやってきます。自分の子供にとってどこがいちばんふさわしいのか、はっきりと見極めて、親の意向をきちんと伝えましょう。

連絡先 情緒障害特殊学級つくろう会
代表

E-mail air-papamama@mbh.nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/airpapa/>

